

本競技会は2018年度日本陸上競技連盟規則及び本競技会申し合わせ事項により実施する。

1. 招集について（招集所は管理棟付近に設ける⇒招集完了後に各自で各競技集合場所に集合する）

- ・招集完了時刻は、競技開始時刻を基準として、以下の通りとする。

競技種目	招集開始時刻	招集終了時刻
トラック競技	競技開始 30分前	競技開始 20分前
フィールド競技	競技開始 40分前	競技開始 30分前

- ・リレーのオーダー用紙(競技者係に準備)は招集終了60分前(競技開始80分前)までに競技者係に提出する。

2. ナンバーカードは主催者が用意する。競技終了後、団体(個人)毎に番号順に揃えてまとめて競技者係に返却する。

(配布されたままの大きさを胸と背に四隅をピンでしっかり止める。) ※安全ピンは各自で用意する。

- ・トラック競技においては腰ナンバーカードを使用するので、競技終了後は必ず返却する。

3. 競技について

- ・同一競技者が2回不正スタートをした場合は失格とするが、競技には参加させ記録は参考とする。

スタート方法はクラウチング・スタンディングのどちらでもよい。

- ・スターティングブロックの使用は決勝のみ認める。 ・スタートの合図は日本語とする。

- ・60mHは高さ60cm、スタートから1台目12m、インターバル6mで競技を行う【ポイント=ピンク】

- ・80mHは高さ70cm、スタートから1台目13m、インターバル7mで競技を行う【ポイント=赤】

- ・リレー競技において、チーム編成は申し込んだ6名以内からの4名とする。

同一団体から複数のチームを申し込んだ場合、チーム間で競技者の移動は出来ない。

- ・リレーのマークテープは各チームで用意する。

- ・リレーの第1走者は、バトンパス終了後は自分のレーンに留まり、役員の指示によりスタンド側に出てレーンを空ける。第4走者がフィニッシュ後、自チームのマークを外す。 ※必ず足から着地する

- ・走高跳の練習は90cm、95cmから(競技者が1名になるまで)5cmずつバーを上げて競技を行う。←

- ・走幅跳の試技は3回とする。計測方法は踏切板から計測し、実測はしない。

- ・ジャベリックスロー・ジャベリックボール投げの試技は3回とし、一人が3回連続で試技を行う。

- ・60m、100mの決勝進出者は、予選のタイムで上位7名とする。

- ・競技の服装はランニングシャツ・パンツまたは学校の体育着を着用する。

4. 大会記録について ※トラック競技は電気計時を採用する。

- ・トラック競技の大会記録は、前回までの記録は手動計時につき“参考記録”とし、今回以降の電気計時による記録を大会記録とする。

5. その他諸注意

- ・プログラム記載事項の訂正は9:30まで、もしくは競技開始1時間前まで所定の書式で競技者係にて受付ける。

- ・参加各団体及び個人の引率者(責任者)は、必ず引率者打合せ【8:50開始】に出席する。

- ・第1位～第3位に賞状及びメダルを授与する。表彰は準備出来次第、順次実施する

- ・記録証は、希望者に1種目につき100円で発行する。

- ・競技順序・競技開始時刻などを変更する場合もあるので、場内アナウンスに注意する。

- ・本競技場にはサブトラックが無いので競技場内に練習エリアを設けるので、競技を妨げないように、また事故を起こさないよう注意してウォーミングアップ等を行う。

- ・テニスコート及び連絡用通路(橋)はウォーミングアップ禁止！！ 付近に立ち入り禁止！！

- ・ハードルは練習時間を設けるのでその時に練習する。ハードルを持ち込んでの練習は禁止する。

- ・投てき競技の練習(競技開始30分前から可能)は所定の競技場所で行う。それ以外の場所での練習は禁止する。

- ・主催者は、傷害・紛失・その他の事故やトラブルについては、応急処置を除き一切の責任を負わない。

- ・参加者は、各自及び引率指導者の責任において参加し、特に競技中に不調を感じた時は直ちに競技を中止するなど健康管理には注意する。なお、競技者が小学生ということもあり主催者側で競技を中止させることもある。

- ・サブイベントは当日エントリーで出場できる。

- ・競技場の駐車場は役員専用とする。土手を隔てた河川敷に参加者用駐車場が有る。(有料=1日500円)

- ・本競技会の記録は1週間以内に板橋区陸協ホームページに掲載する。 URL <http://itariku.org>